



衣川 良介

『天然磁石 (じしゃく) 』

もう30年ほど前のこと『砂鉄とじしゃくのなぞ』という子供向けの本を本屋さんで見つけました。子供のころから、砂鉄や磁石に興味を持っていた私は購入し一生懸命読みました。わかりやすく説明された本で、砂鉄の生い立ち・磁石のこと・大陸移動説まで書かれています。その中に釘をひっつける強い天然磁石の写真が掲載され、岡山県の柵原(やなはら)鉱山でもらったものと書かれていました。

私もこんな強力な磁石が欲しくなり色々入手の方法を調べてみましたが、なかなか見つかりませんでした。1999年、生野鉱物博物館(兵庫県)にあるミュージアムショップで「楽しい鉱物図鑑」という本を購入、その末尾に各種鉱物を販売していると記されていました。早速電話をし、『大きな釘を何本もぶら下げるそんな力の強い天然磁石が欲しいのです。』そう話して探して頂き、やっと入手出来たのがアメリカ・ユタ州産のものです。大きさは長さ20cm、巾13cm、厚み7cm、重さは5.5kgで、釘を何本も連ねたり、ゼムピンで試したりしました。これもひつつくのではないかとそう思って磁鉄鉱の結晶でも、やはりひつつきました。

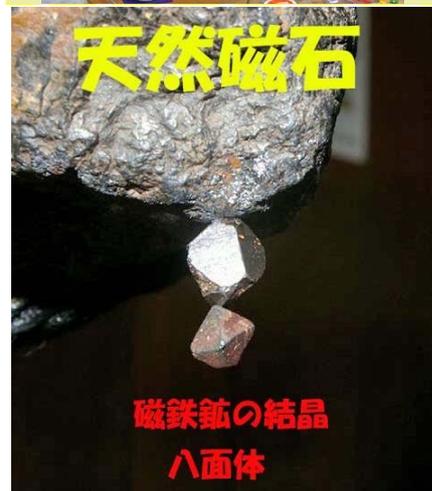
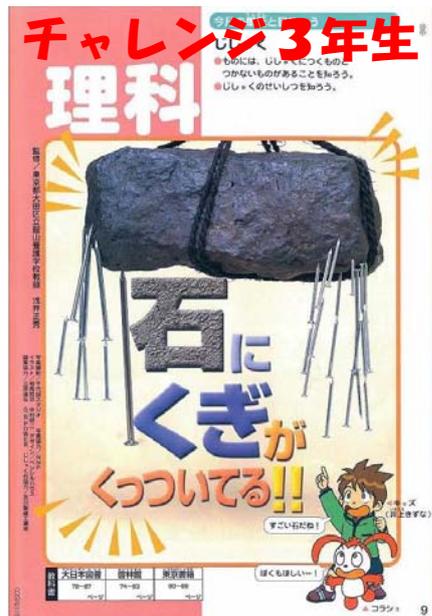
釣具屋さんへ行って、大物の魚を釣る時に使う『ヨリトリ』(スイベル)を買い、これを使ってぶら下げています。南北の方向を示します。これも方位針なのです。面白くてこの画像を、ホームページ『むらの鍛冶屋』にアップしていたところ、雑誌社からその磁石を貸して欲しいとの依頼がありました。小学生の副読本「チャレンジ3年生」(2001年)に磁石の項目で紹介したいとのことでしたので貸し出しました。

天然の磁石は私にとって非常に夢のある楽しいものです。『鉄のふしぎ博物館』を訪れる子供達にも大人気。『おっちゃん、これ石やろ?何で鉄がひつつくの?』『あ!磁石もひつついた??』ゼムピンや小さな磁石をくっつけて遊んでいます。子供達が帰ると、磁石の上にはハチやバイク形をした小さな磁石や石ころなど、たくさん乗っています。

ちなみに、この『砂鉄とじしゃくのなぞ』は、2008年に仮説社から再版されて、本屋さんにも並んでいます。興味のある方はごらんください。

参考資料

- 『砂鉄とじしゃくのなぞ』板倉聖宣 著 福音館 1980年
- 楽しい鉱物図鑑 堀秀道 著 草思社 1999年
- 美しいカラー写真と楽しい文章で、202種の基礎鉱物をわかりやすく解説した鉱物図鑑。
- ホリミネラロジー <http://horimineralogy.com/>



「鉄のふしぎ博物館」開館

来て!見て!ふれて! ふしぎ体感

鉄を見る目が変わりますよ。ぜひお越しください。



むらの鍛冶屋®

第8回 たたらサミットin姫路が開催されます。

日時 2010年12月3日~12月6日 姫路科学館

古代の製鉄に興味のある方は是非お越しください。

詳細はホームページ『むらの鍛冶屋』のトピックスにアップしています。



何でもお気軽にお尋ねください!!